

About SSF

映画祭について

映画祭について

実行委員会

マーケット



この映画祭は、インディペンデント精神を重んじ、子供たちの未来を考え、新しい世界の価値観を相互理解し、世界の平和を作ります。

●ユニークなエントリーシステム

「フィルムメーカー部門(プログラムエントリー方式)」は、1人の監督が複数本の作品を45分以内にプログラムして応募出来るエントリー方式です。このことにより、ショートフィルムの作品のみならず、監督にフォーカスしショートフィルムの世界を「音楽のモデル」に近づけようとする試みです。作品部門はシングルカットのようなもので、フィルムメーカー部門はアルバム部門のようなイメージです。

●国内では唯一ショートフィルムのマーケット(Spotlights)

応募作品の売買の場を設けており、新しい魅力あるコンテンツの提供を積極的に行っています。今年応募された作品でマーケット参加の約2,000本の作品をこのマーケットでは観ることができます。ショートフィルムの産業は未だ国内では未開拓ですが、その可能性は一度作品を目にした方は、間違いないと其の大きさを感じていただくと確信しています。開催中は各国から監督たちも参加。様々な国の機関もレセプション等を開きます。

子供たちの映像教育にもショートフィルムを活用し、小学生を対象とした映画制作ワークショップや、小学生以下無料のチルドレンプログラムなど、底辺の拡大にも努めています。

“まるで映画みたい”

初めて短編映画(ショートフィルム)を見た人がよく口にする感想です。こうした声を耳にすると、ショートフィルムの魅力がまだ十分に伝わっていないと思う反面、そこにとっても大きなチャンスを感じます。それは、短い時間尺の中に、笑い、涙、喜び、怒り、愛、人生など、様々なドラマが凝縮されたショートフィルムの素晴らしさを知ってもらふ余地がまだたくさんあるからに他なりません。ショートフィルム用の脚本、撮影、編集によって作られた良質の作品を見てもらうことで、“長編映画の短縮版”ではなく、「ショートフィルム」というジャンルがはっきりと存在することを伝え、その価値を共有したい—SAPPOROショートフェスはこうした想いからスタートし、いま、5周年を迎えました。2006年の第1回以来、世界120の国と地域から約12,000本の作品がここ札幌に集まり、延べ4万人がショートフィルムを堪能。SAPPOROショートフェスは少しずつ、着実に、歩みを進めてきました。

“作り手と観客の距離が近い”

札幌を訪れた監督、国際審査員、そして観客の皆さんからいただいた言葉です。自信作を携えて札幌にやって来る作り手たちに、敬意と拍手で応える観客の存在。上映後の会場のあちこちで作り手と観客が気軽に会話を交わす光景は、映画祭がショートフィルムを通じた国際文化の理解、人や国との交流機会になっていることを実感できる瞬間です。目の肥えた観客が数多くいることや、若く才能ある作り手を温かく受け入れる空気は、きっとこの映画祭を大きく成長させてくれる原動力になるはずです。「SAPPOROは素晴らしい街。この体験は決して忘れない—毎年、多くの監督たちがこう言い残して札幌を後にし、再び新作を応募するフィルムメーカーも少なくありません。

子どもを対象とした映像教育ワークショップや、24時間以内に1分間のショートフィルムを完成させ、作品の出来栄を競う「アイアンフィルムメーカーコンテスト」など、次世代の作り手の育成も映画祭の重要な使命です。映画祭が文化を育み、街を元気にし、人を育てるSAPPOROショートフェスの大きな目標がここにあります。

“もっと見る機会を”

ショートフィルムの魅力を知った観客からのリクエストです。ケータイ、パソコン、ゲーム機等の普及、メディアの多様化、動画サイトの爆発的な拡大などを受けて、映像コンテンツの楽しみ方、見る場や機会が飛躍的に広がっています。時間の制約が短く、エンタテインメント性の高いショートフィルムは、こうした環境の変化の中でニーズを高めていくことでしょう。SAPPOROショートフェスは、ショートフィルムの新たな活用方法の提案や、作品の権利の売買促進など、ショートフィルムの産業化に取り組んでいます。

世界から優れた作品が集まる札幌、多くの目の肥えた観客がいる札幌、次代の映像人材が次々と羽ばたくここ札幌を拠点に、今後

もショートフィルムの多様な可能性を発見し続け、育てていきます。

まだまだ若い映画祭ですが、今後も参加者、協力者が一体となって、札幌オリジナルの国際短編映画祭に進化させて参ります。

Copyright 2010 Sapporo Short Fest. All Rights Reserved.

Market

マーケット

[映画祭について](#)

[実行委員会](#)

[マーケット](#)



国内最大の映像コンテンツ・マーケットを誇る「SAPPORO SHORT FEST」には、毎年世界から多種多様の映像作品がエントリーされています。映画祭では全ての作品を審査し、キーワードとコメントを付けてアーカイブしています。現在、サーバーには世界約102カ所・約10,000本もの作品がストックされています。spotrightsは、ショートムービーの配信サービスなど、デジタルコンテンツを活用したビジネスに対応したマーケットサイトです。登録して頂いた企業がフィルムメーカーと直接取引を行うために、様々な工夫を行っています。

POINT 1

札幌国際短編映画祭に世界中からエントリーされたクオリティの高い作品をアーカイブ。いつでもWEBで見ることができます(登録制)

POINT 2

国別、タイプ別、時間別などの検索やキーワードでも検索できます

POINT 3

プロデューサー、フィルムメーカーなどの情報も閲覧できます

このような方々にご利用いただけます

- ショートフィルムのコンテンツを利用して、映像配信サービスやディストリビュートを行っている企業・団体
- 映像教育を行っている大学や専門学校の教育資料として活用を考えている方
- 映像制作や広告CMの映像プロダクションで、アイデアソースや映像の傾向などを確認する資料として

詳しくはspotrights.jpのWEBサイトをご覧ください。

Spotrights.jp

PAGE TOP ↑

SSF NEWS

SSFニュース

2014.01.16

パーマリンク | RSS



SSF2014 作品募集開始!



第9回札幌国際短編映画祭の作品応募のオンライン受付を開始しました。すべての作品は映画祭が利用する**スポットライツ (Spotrights.jp)** から応募してください。たくさんの応募をお待ちしております。

スポットライツ (Spotrights.jp) を初めて利用する方はアカウント登録後、登録したメールアドレスにパスワードが送られてきますので、メールアドレスとパスワードでスポットライツにログイン (Filmmaker / Distributor) して、応募する作品を登録、希望の部門を選んで応募してください。

また、**shortfilmdepot.com** 利用者もshortfilmdepot.comからも応募出来ますが、受付は2月28日までになります。ただし、【フィルムメーカー部門】はスポットライツ (Spotrights.jp) のみからの応募になります。

作品部門：30分以下の作品で2013年3月1日以降、2014年2月28日までに完成した作品。

フィルムメーカー部門：40分以下で制作年は問いません。同一監督またはグループの2作品以上をまとめて応募、トータルで60分以内の作品集。



SSF2014 募集要項 PDF

【応募にあたって必要な事】

- 1: スポットライツにアクセスする時は、ブラウザのポップアップを有効にしてください。
- 2: 作品タイトルを日英で用意してください。
- 3: 作品画像を用意してください。プレス用の写真。横幅900ピクセル以上
- 4: 監督の顔写真を用意してください。横幅900ピクセル以上
- 5: 作品の短いあらすじを日英で用意してください。日本語：50字以内、英語：20ワード以内
- 6: 作品制作者情報として、監督名またはプロデューサーの情報をかならず入力してください。(登録ユーザーと作品の監督が同一である場合も登録が必要です。)

SSF NEWS

SSF STAFF BLOG

FESTIVAL UPDATE

RECENT POSTS

【定期上映会】2月マンスリーショーのお知らせ

SSF2014 作品募集開始!

【定期上映会】1月マンスリーショーのお知らせ

2014年ボランティア募集のお知らせ

ポートランドでSAPPORO SHORTS 2013 プログラムを上映

CATEGORY

Information

NEWS

イベント

プレスリリース

募集

映画祭報告 / Report

BACK NUMBERS

選択してください ▼



SIGN UP

新規登録（無料）をすることで作品の情報管理、コンペティションへの応募ができます。ぜひご登録ください。

新規登録する →

LOG IN

Filmmaker/Distributor

ID

PASS

Buyer

ID

PASS

→ パスワードを忘れた方はこちら

CALL FOR ENTRY

14th SAPPORO SHORT FEST 2014 : Filmmakers'

Section [→応募要項](#)

応募期間: 2014/01/17 - 2014/03/31

14th SAPPORO SHORT FEST 2014 : One Title

Section [→応募要項](#)

応募期間: 2014/01/17 - 2014/03/31

PAGE TOP ↑

以下、FAQ

作品応募に関わるFAQ

Q1. 作品の登録、応募は監督、プロデューサー以外にも出来ますか？

A: 出来ます。スポットライツに作品を登録し映画祭へ応募するのは作品の著作権や上映権を管理している個人または組織、グループの担当者であれば出来ます。応募については、誰がその作品の管理をしているのが重要で、該当作品を映画祭に応募出来る権利を行使できる人であれば誰でもできます。

例: プロデューサー、監督、プロモーション担当のPR会社担当者、上映権などを管理する会社の担当者など。

Q2. 学校で制作された作品も応募出来ますか？

A: 出来ます。その場合、誰が作品の著作権などを持っているかも重要です。専門学校や大学で制作された作品も映画祭のコンペに応募する事ができます。その場合、2つの方法があります。

- 1) 学校の担当者(よくあるのは担当の先生)が代表して作品(複数)を応募する。
- 2) 作品の監督が応募する。

どちらの場合も誰が作品を管理しているのか(誰が著作権や上映権、作品データを管理しているのか)を事前に確認してください。

Q3. 他の映画祭で上映される予定です。または上映されましたが応募出来ますか？

A: 出来ます。国内外での上映歴または上映の予定がある作品でも応募出来ます。

Q4. Youtubeやvimeoで公開されていますが、応募出来ますか？

A: 出来ます。

Q5. 映画祭に選ばれると著作権は映画祭に帰属する事になりますか？

A: 著作権や隣接権などは映画祭の帰属にはなりません。あくまでも本来の所有者に帰属します。ただし、映画祭の応募規定として映画祭の応募作品アーカイブとしてプレビュー用に提出してもらった作品の管理をする事。また映画祭のPRと教育目的や映画や映像産業の活性化と普及のために、応募された作品を紹介するなど、上映について承諾してください。(第三者組織や団体・学校に応募作品を貸し出すという事は行っていません。)

実行委員会事務局では毎月一度、無料の上映会: マンスリーショートを実施して短編映画を紹介するPR上映会を行っています。*主に過去のノミネート上映作品や受賞作品を紹介するイベントです。

ツイート { 1 }

いいね! { 2 }



Sapporo International Short Film Festival and Market

SAPPORO Short Fest 2014, October 8th-13th

札幌国際短編映画祭

SAPPORO ショートフェスト 2014 / 10月8日(水)から13日(月・祝) <予定>

ONLINE OPEN CALL REGULATIONS

For

Spotrights.jp

インターナショナル・コンペティション INTERNATIONAL COMPETITION

■オンラインの作品エントリー締切：2014年3月31日(月)

■応募作品のプレビュー審査用DVD提出締め切り(事務局必着)

作品部門：2014年4月7日(月) フィルムメーカー部門：2014年4月7日(月)

■応募料 無料

■部門

【作品部門】 (One Title Section)

30分以内で2013年3月1日から2014年2月28日までに完成された作品。

【フィルムメーカー部門】 (Filmmakers' Section)

1作品40分以下の作品を複数まとめた、60分以下の監督作品集。制作年を問いません。

SAPPORO Short Fest 2014 に応募するには、コンテンツマーケット「スポットライツ (Spotrights)」へ作品登録が必要です。スポットライツ (Spotrights) から SAPPORO Short Fest 2014 の各部門へ応募してください。

SAPPORO ショートフェスト (SAPPORO Short Fest) <http://sapporoshortfest.jp/>
スポットライツ (Spotrights) <http://www.spotrights.jp/>

Spotrights.jp

スポットライツ (Spotrights) の利用について

1) まず、最初にスポットライツのユーザー登録をしてください。

登録ユーザーは無料で複数の作品を登録・管理することができます。

2) 登録作品はスポットライツのサイトからいつでも作品情報を修正することができます。

応募の手順

1: スポットライツにユーザー登録してアカウントを取得。

2: スポットライツに応募作品を登録。

3: 応募したい部門を選ぶ。登録してある作品の中から応募作品を選んで応募。

4: エントリーシートのPDFを印刷。サインしてプレビュー審査用DVDと一緒に発送。

オンライン応募締め切り：3月31日(月) プレビュー審査用DVD提出締め切り：4月7日(月)



1. 概要

第9回札幌国際短編映画祭、通称：SAPPOROショートフェスト2014(以下、本映画祭)は2014年10月8日(水)～2014年10月13日(月・祝)の期間で開催を予定しています。

本映画祭は一般公募作品のコンペティション入選作品、アウトオブコンペティション作品と招待作品上映、マーケット、ワークショップ、その他のプロモーション及びエデュケーショナル・イベントと、国内外での上映ツアーで構成されます。マーケットとはショートフィルムの見本市で作品視聴ブースを設け、マーケットに参加した応募作品の各種権利の取引や制作に関わる権利を取り扱う場で、制作者が自分の作品を売り込む場として利用するものです。(詳しくは後述の「マーケット」参照。)

作品の募集は2つの部門に分かれ、それぞれ「作品部門」と「フィルムメーカー部門」と呼びます。

■「作品部門」とは応募者が作品単位で30分以下の作品を応募する部門です。

■「フィルムメーカー部門」とは応募者が一人またはグループとして同一名義の監督のショートフィルム(40分以下の作品)を複数本集めて1つのプログラム(60分以内)として応募する部門です。(後述「公募ガイドライン」を参照してください。)

各部門グランプリの選出の他、各賞を選出。その他のコンペティションは以下の通り。

【札幌市平和賞】(応募作品の中から選出します)

【最優秀チルドレンショート賞】(応募作品の中から選出します)

12才以下を対象とした応募作品の中から子供審査員が選出します。

【最優秀アジアンショート賞】(応募作品と招待作品の中から選出します)

日本を含む、アジアの制作国の応募作品は『ベスト・アジアン・アワード』対象作品となります。

アワードの詳細は<5. アワードについて>を参照してください。

本映画祭の管理運営はSAPPOROショートフェスト実行委員会と同事務局が行います。本映画祭は短編映画の産業化を通じて若い映画監督の育成、文化活動を通じた国際交流、映像教育の振興を目的とします。

2. 公募ガイドライン

○制作者の国籍は問いません。

○作品の長さ：作品部門は30分以内(エンドクレジット、その他を含む全体の長さ)。

フィルムメーカー部門は40分以下。

○「作品部門」への応募については、2013年3月1日から2014年2月28日までに完成された作品に限ります。

○「フィルムメーカー部門」への応募に関しては、完成年を問いません。

○作品登録時は作品情報について英語でも入力してください。簡単なあらすじの英語訳が必要です。

○制作途中の作品は応募できません。

○本映画祭の公募枠は全てスポットライツ(Spotrights)を利用して応募してください。

*本映画祭の応募作品はスポットライツ(Spotrights)により管理されるため、SHORTFILMDEPOTを利用したエントリー作品についても、スポットライツ(Spotrights)から個別のIDとパスワードが発行されます。スポットライツ(Spotrights)から応募作品に関する情報の修正・変更をすることができます。



2-1

応募作品のプレビュー審査用ビデオファイルに関するガイドライン

- 1) 1 作品につき DVD を 1 枚提出してください。
- 2) プレビュー用の映像はビデオファイルを DVD に収録して提出してください。
ビデオファイルは以下の仕様とします。
 1. 解像度：1280 x 720 ピクセル (16 : 9)
 2. ファイル形式：.MP4 (MPEG-4 AVC / H.264) または.MOV
 3. フレームレート：24fps
 4. ビットレートとファイルサイズ：4000 bps 以下で 800MB 以下
 5. ファイル名は『エントリー番号下 5 桁 XXXXX_作品タイトル.mp4/.mov』としてください。エントリー番号はエントリーフォーム (PDF) の左上に 14 から始まる 10 桁の数字です。作品タイトルは英語表記：例：12345_YourFilmTitle.mp4 としてください。
- 3) DVD 盤面にエントリー番号 10 桁と作品名、監督名を英語で記入してください。
- 4) DVD の盤面にはラベルシールを貼らないでください。マーカー使用またはラベル印刷推奨。
- 5) DVD は返却しません。

2-2.

- 字幕については使用言語が英語以外の作品は、英語字幕を応募者が付けた上で応募してください。
日本国内の作品と英語以外の言葉が使用されている作品についても、海外からのマーケット参加者のために応募作品には原則英語字幕を必要とします。
- 英語作品は日本語字幕制作のためダイアログリストを用意してください。(日本の制作者は各自で英語字幕制作が必要です。)
- 作品の上映歴の有無は問いませんが、上映歴がある場合、もしくは応募の時点で形態を問わず上映が行われている場合は作品情報として明記してください。
- 作品に使用されている音楽の使用権、及びその他の権利関係については、応募者が責任を持って正当な手続きの上、応募してください。
- 学校単位の応募についても、作品毎に 1 枚の DVD に 1 作品収録してください。エントリー番号毎にエントリーフォームと共に管理されます。

2-3.

○「フィルムメーカー部門」

応募者は一人またはグループとして同一名義の監督の 40 分以内のショートフィルムを 2 作品以上 60 分以内にまとめ、プログラムとして応募することができます。

ただし選考時に選考委員会によって 60 分以下に再編成される場合があります。「フィルムメーカー部門」への応募作品は完成年を問いません。作品毎にプレビュー審査用のビデオファイルを収録した DVD を制作しプレビュー審査用として提出してください。

フィルムメーカー部門で選ばれた監督は映画祭により招待されます。映画祭は規定範囲内の航空旅費と映画祭が手配するホテルの宿泊費を負担します。2 人組のグループの場合は 1 名分のみが対象となります。

2-4.



- エントリーに際して必須事項を含む全ての作品情報と制作者情報として【監督名】、【プロデューサー名】を入力してください。（それぞれ複数名登録する事もできます。）
- 特別に指定された項目は日本語と英語を必ず入力してください。

- オンラインの作品エントリー締切：2014年3月31日（月）
- 応募作品のプレビュー用データ DVD 提出締切：映画祭事務局に必着。
- 作品部門／フィルムメーカー部門：2014年4月7日（月）

募集条件に同意し、署名した作品毎のエントリーフォームとプレビューDVD を下記住所に郵送してください。英語字幕が必要な作品は英語のダイアログリストを DVD に収録してください（国内作品は対象外）。

宛先
〒003-0005
札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1
インタークロスクリエイティブセンター 1F A
SAPPOROショートフェスト実行委員会 事務局

海外から作品を郵送する場合

"No commercial value, Non-pornographic, for cultural Purposes only"
と記入し、10ドルまたは15ユーロ程度の値段を記入してください。

郵送に際しての作品の紛失・損傷に関して映画祭は一切責任を負いません。
応募にかかる作品の郵送費用は応募者の負担とします。

本映画祭は、全ての上映作品のクリップ(作品の一部を切り出したもの)、その他作品に関する情報を、全てのメディアにおいてプロモーションを目的とした使用権を有します。

3. 上映作品 (コンペティションのオフィシャルセレクションに選出された作品)

1次審査を通過した作品はオフィシャルセレクションとして映画祭で上映されます。
結果発表は、6月中に映画祭ホームページで行い、同時に上映作品の制作者には映画祭から直接電子メールで通知いたします。

上映作品の素材提供についてはある程度の準備期間を設定しますが、上映作品の決定時期によって変更される場合もあります。

作品中の使用言語が英語以外の場合は、英語の字幕をつけて上映作品を提出してください。

■上映作品の上映素材、提出締切

日本国内作品(英語字幕付き)：8月1日（金）。英語および英語字幕作品：6月下旬を予定。



3-1.

上映作品の提出フォーマット

ビデオファイルを基本とします。HDDなどのメディアに収録の上、映画祭事務局までお送りください。

テープでの提供の場合：HDV、HDCAM（HDCAM SRは不可）

（使用言語が英語以外の場合は、英語字幕付き）

上映素材提出時に映画祭からの素材申告書に素材情報と返却先を記入してお送りください。

3-2.

必要な作品情報（応募時にスポットライトに登録可能です。）

1. 作品写真（72 dpiで横幅：1200ピクセル以上が望ましい）。

作品に関するプレスフォト（作品スチール写真）

高解像度のポスターイメージ（映画祭でB2サイズに出力し会場で掲出予定）。

監督顔写真

作曲家の顔写真

2. ダイアログリスト

日本制作以外の作品のみ：日本語字幕製作用、可能ならタイムコード付きが望ましい。

マイクロソフトワード書類かテキストデータ。

3. ショートシノプシス（20字以下）、シノプシス（50字以上）。

印刷物にはショートシノプシスが使用されます。

4. 監督のプロフィール（100字以下）、フィルモグラフィー、受賞歴など。

5. 作品クレジットリスト（作曲家、脚本家、撮影、編集、主要キャスト）。

各賞の対象になります。

6. プロダクションノートなど、追加資料。

7. 作品のセールス担当、またはコンタクト用担当者の氏名とメールアドレス。

映画祭カタログに記載されます。

映画祭のカタログ制作とアワード用に#3#4#5#6#7の情報は再度提出していただきます。

3-3.

作品のプロモーションの為に作品資料として、以下の2点について事務局に送る事ができます。

作品のポストカード：200枚、B2以下のポスター：3枚、プレスキット：20部まで。

映画祭期間中の作品の取り扱いは事務局が責任をもって行います。上映素材など期限までに作品が届かない場合は、上映が取り消されることもあります。

4. 作品の上映について

上映は札幌プラザ2・5（札幌市中央区南2条西5丁目）と、その他札幌市内中心部周辺の会場を予定しています（詳細は未定）。メイン会場での上映はHD（NTSC）によるビデオ上映します。

上映は、上記本祭期間中の上映と本祭前のプレビューイベントでの上映他、テレビ/ケーブルテレビなどの特別番組でのプロモーション上映を含みます。また、本祭の他に、国内外での上映ツアーを実施する場合があります。

5. アワードについて

アワード各賞は入選作のオフィシャルセレクション作品から事務局が任命する5名(予定)の審査員によってグランプリと各賞が選ばれます。また特別賞として来場者が選ぶ観客賞、札幌市が選出する平和賞などがあります。

アワード受賞作品を中心に映画祭の受賞作品の告知・発表の場としてテレビ/ケーブルテレビなどの特別番組でのプロモーション上映が行われる場合があります。また国内外のツアー上映を行います。アワードの各賞は映画祭ウェブサイトを参照してください。

5-1. アワードリスト

グランプリは2の部門で選出されます。

フィルムメーカー部門：グランプリ・フィルムメーカー

作品部門：グランプリ作品

【各賞】 作品部門、フィルムメーカー部門は2013年制作作品のみ対象

最優秀監督賞 / 最優秀アジアンショート賞 / 最優秀国内作品賞 / 最優秀北海道作品賞 / 最優秀コンテンツポラリー&エクスペリメンタルショート賞 / 最優秀アニメーション賞 / 最優秀学生監督賞 / 最優秀作曲賞 / 最優秀チルドレンショート賞

【予備賞】 ノミネート作品によっては選出されない場合もあります。

最優秀ドキュメンタリー賞 / 最優秀脚本賞 / 最優秀編集賞 / 最優秀撮影賞 / 最優秀ミニショート賞 (5分以下) / 最優秀ノンダイアログ賞 / 最優秀俳優賞 / 最優秀子役賞

【最優秀チルドレンショート賞】 (応募作品の中から選出します)

12才以下を対象とした応募作品の中から子供審査員が選出します。

【最優秀アジアンショート賞】 (応募作品の中から選出します)

日本を含む、以下の制作国の応募作品は『ベスト・アジアン・アワード』の対象となります。

日本、バングラディシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国(香港、マカオ、台湾を含む)、東チモール、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルジブ、モンゴル、ミャンマー、ネパール、北朝鮮、韓国、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナムの国と地域。

【札幌市平和賞の募集について】 (応募作品の中から選出します)

札幌市は平成4年3月30日に『札幌市平和都市宣言』を行いました。このため、宣言の趣旨を踏まえ、人々が平和とは何か、また平和な世界のために何ができるかを考える機会を提供するとともに、子どもたちに対する平和教育として、効果が期待できる作品に平和賞が贈られます。



6. マーケット

本映画祭では、コンテンツバイヤーなどのマーケット・プロフェッショナルが応募作品の視聴や制作者と交渉を行うためのフィルムマーケットを映画祭会期中に開催します。マーケット会場には視聴ブース、商談用のスペース、プレゼンテーション・スペースを用意しています。会期中はマーケット会場でのイベントを開催予定。コンテンツバイヤーなどマーケット参加登録者はマーケットに参加している作品について詳細な作品情報をオンライン・マーケット・システムのスポットライツ (Spotrights.jp) を使って閲覧・視聴出来ます。

6-1. スポットライツ (Spotrights) IDとマーケットへの参加

SHORTFILMDEPOTを利用した全ての応募作品は、マーケット参加を初期値 (デフォルト) としますが、スポットライツ (Spotrights) の作品管理画面から本映画祭のマーケット参加について参加・不参加を自由に修正することができます。マーケット参加情報以外の作品情報も随時修正・変更できますが、映画祭公式カタログ、ウェブサイトへの反映は制作スケジュールによって最新情報が反映されない場合があります。

6-2.

マーケット会場では、マーケット参加登録者 (企業、メディア、映画祭関係者など) に対しフィルムメーカーの情報、またはマーケット参加者登録者の情報を映画祭側で管理し、必要に応じ相互へ情報を提供します。

1. 参加者同士の商談の機会を提供。
2. プロフェッショナル・バイヤーや映画祭関係者などに、作品のプレス資料を提供。
3. 参加者登録者 (企業・メディア・映画祭関係者) の参加者情報の提供。

7. 会期終了後の作品の利用・管理について

全ての応募作品の DVD (上映用素材を含む) は、本映画祭のアーカイブに登録され、事務局の管理の下に最低 3 年間保管されます。3 年以降も実行委員会が必要と認める限り保管を続けます。アーカイブ内の作品は、事務局の管理運営上、必要のある場合に第三者に視聴を許可します。応募作品のアーカイブは、映画祭が主催または関連する文化的、教育的またはプロモーションの目的のイベントなどにかぎり上映されます。また映画祭事務局のあるインタークロス・クリエイティブ・センターの視聴ブースでは作品を一部に市民に公開しています。

特定の作品の上映権、配給権などについて、映画祭がフィルムメーカーに対し契約のオファーを行なう場合があります。

8. 了解事項

この要項に記載されていない内容については本映画祭規約に基づいて本映画祭実行委員会が裁定します。要項に記載された本映画祭の開催日時・場所などの情報は変更する場合があります。応募者は要項内の全ての内容を理解し了承したものとみなされます。応募者は募集要項をよく読み応募してください。

以上



SAPPORO INTERNATIONAL
SHORT FILM FESTIVAL AND MARKET

SAPPOROショートフェスト実行委員会

〒003-0005

札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

インタークロス・クリエイティブ・センター 1F A

SAPPOROショートフェスト実行委員会 事務局

電話 +81-(0)11-817-8924 / ファクス +81-(0)11-812-6550

担当：本間、鈴木

E-mail: office@sapporoshortfest.org

映画祭公式サイト: <http://sapporoshortfest.jp/>

スポットライツ (Spotrights) : <http://www.spotrights.jp/>

Spotrights.jp